

## 甲州市景観計画

### 太陽光発電設備設置行為に対する景観形成の手引き

甲州市建設課  
平成27年5月  
令和2年10月変更

## 趣 旨

甲州市景観計画（平成 24 年 12 月策定）の基本理念として、「甲州市らしい伝統的な建築物や暮らしの景観等を継承しつつ、産業の振興とともに、新たに美しく質の高い景観を創造していくことを目指します」としており、山々に囲まれた自然景観と、果樹園の広がる当市特有の農村景観を活かし、創造することを掲げています。

また、太陽光をはじめとする、自然再生エネルギーの積極的活用は市の環境政策としても、温室効果ガス排出量の削減のため、推進すべきものの一つでもあります。

しかしながら、眺望点からの俯瞰景観や果樹園が一面に広がる農村景観の中に、太陽光発電設備が点在することは良好な景観の大きな阻害要因として軽視できないものであると考えます。

こうした中、当市としては、良好な景観を保全し育成していくため、景観条例により一定規模以上の太陽光発電設備の設置を届出対象行為に位置づけ、その設置方法や付属設備についても周囲の景観に調和した設置になるよう、円滑に協議を進めることを目標とします。

### 1. 景観法及び景観条例の位置づけ

「甲州市景観条例」において、工作物と位置づけることにより景観法上の特定届出行為となります。

これにより、景観法の罰則規定が適用されるようになります。

### 2. 届出対象行為

太陽光発電設備（土地に自立若しくは支柱を立てて設置するものに限る。）の、ソーラーパネルの表面積の合計が10平方メートルを超える設置行為を対象とします。また、建築物の屋根上や屋上に設置するものは、建築物の一部とみなし、建築物の届出対象行為に該当する高さを超える場合（都市計画法に規定する用途地域内では20mを超えるもの、用途地域以外の地域では15mを超えるもの）には届出の対象となります。

なお、これらの設置に伴う付属設備も協議の対象とします。

### 3. 制限及び推奨の内容

#### ■位置

- ① 尾根線上、丘陵地、高台への設置は避ける。
- ② 自然景観及び農業景観の保全のため、山林及び農地への設置は避ける。
- ③ 景観形成重点地区等の周辺への設置は避ける。
- ④ 甲州市景観条例により指定された景観形成重点地区及びその候補地、良好な眺望場所、重要文化的景観、景観重要建造物、景観重要樹木、景観重要公共施設及びこれらの周辺等主要な眺望点からの俯瞰や山々の眺望を阻害する場所への設置は避ける。

#### ■設置方法等

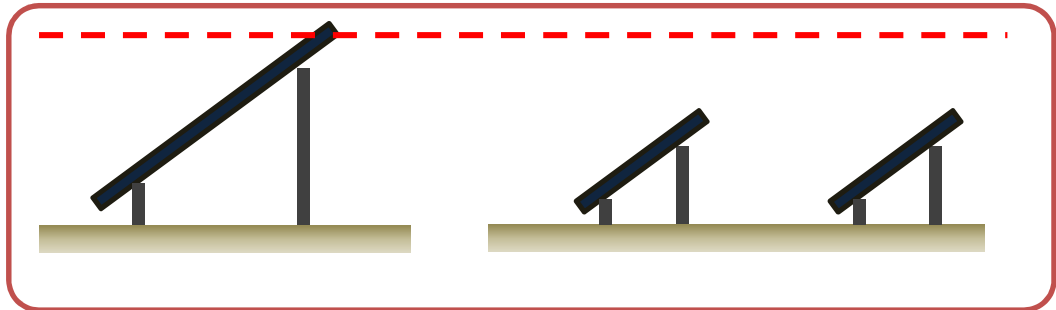
- ① 太陽光発電施設的最上部はできる限り低くして周辺景観に馴染むようにする。(例示1)
- ② 歩行者及び周辺の景観に影響のあるものは、敷地境界から出来るだけ後退し、必要に応じ植栽などにより修景を施す。(例示2)
- ③ 道路等から見た場合に周辺の景観を阻害しないよう、分割して小さなブロックの配置にするなどの配置の工夫や植栽等により修景を施す。(例示3)
- ④ 歴史的、文化的に価値の高い施設及びその周辺から望見できないよう遮へいに配慮する。
- ⑤ 景観上重要な施設等を見た場合に阻害しないよう考慮し、電線類地中化等を施す。
- ⑥ 木竹の伐採を伴う場合は、伐採面積を最小限にする。
- ⑦ 建築物の屋根を使用又は屋上に設置する場合は、表1のとおりとする。

※ 景観上重要な施設等を見た場合に阻害となる例



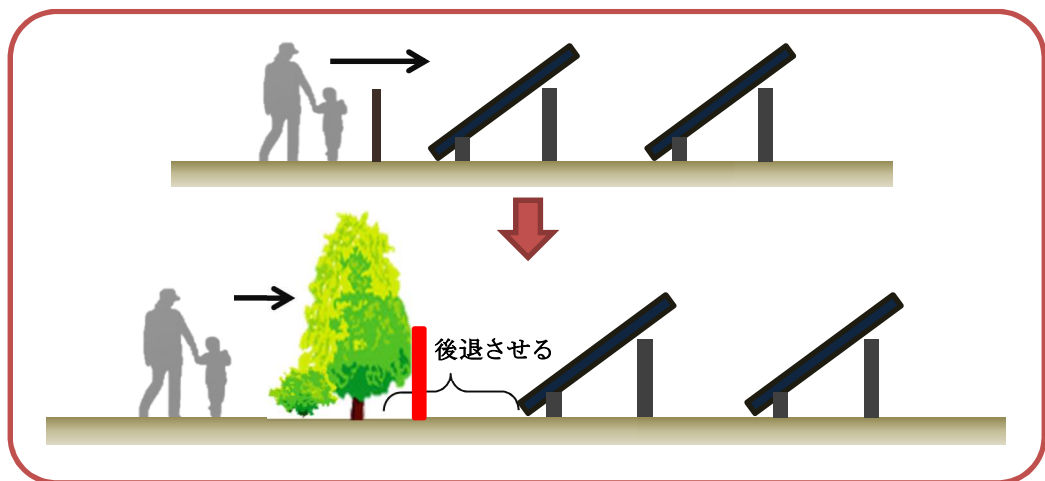
### 例示 1

- 高さを低くすることにより周囲への影響を抑える。



### 例示 2

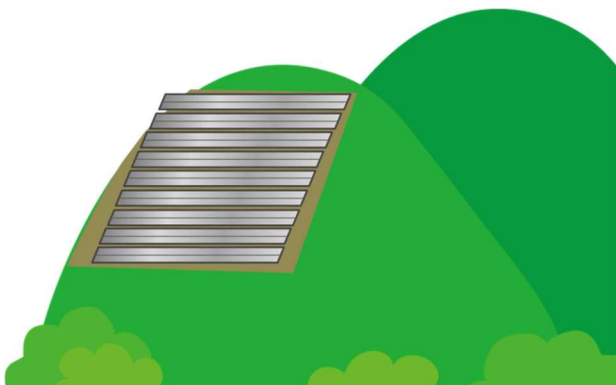
- 道路等から後退させ、植栽により目立たなくする。
- 特に景観への配慮が必要となる地域に設置する場合は、フェンス（不透過性のもの）等と植栽を組み合わせ、望見できないようにする。



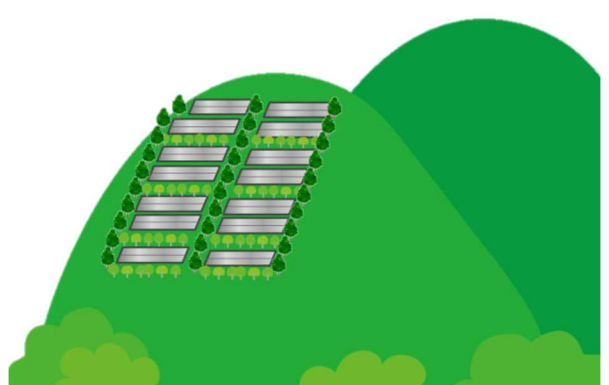
### 例示 3

- 分散させることにより、圧迫感を軽減する。
- 設置地面を緑化し目立たなくする。
- 植栽を施し、周辺に配慮する。

#### ◆一面的な配置

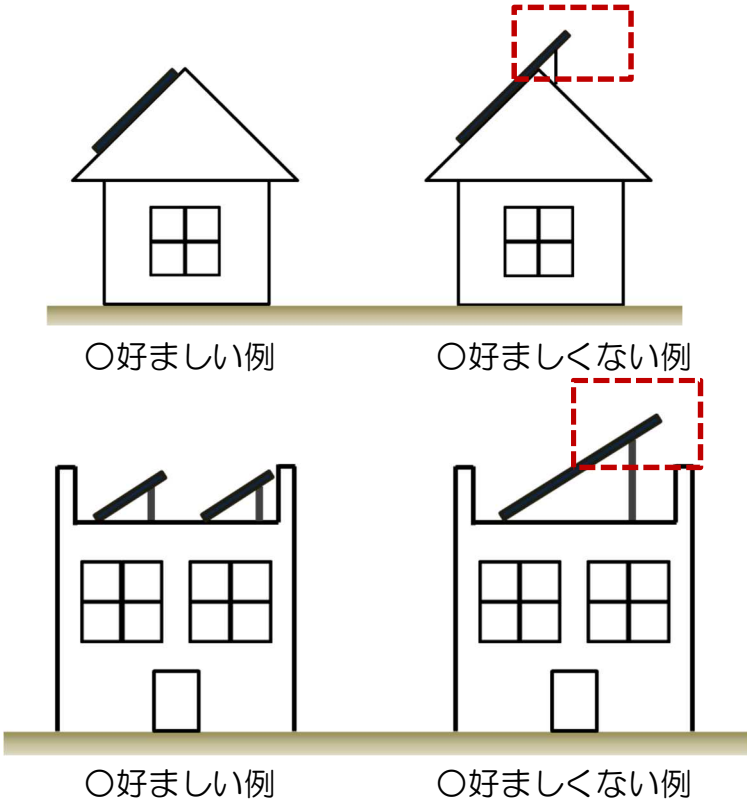


#### ◆分散させた配置



※建築物の屋根を使用又は、屋上に設置する場合

表 1

色 彩	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーラーパネルの色彩は、屋根などと一体に見える色相とし、明度・彩度の低いものか、黒色、濃紺色などで、光沢や反射が少なく、模様等が目立たないものを使用する。</li> </ul>
設置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>勾配屋根に設置する場合は最上部が建築物の最上部を超えないように設置し屋根と一体化させる。</li> <li>陸屋根に設置する場合は最上部を出来るだけ低くするか、ルーバーなどにより目立たないようにして建築物と一体化させる。</li> </ul> <p>例示</p>  <p>○好ましい例                      ○好ましくない例</p> <p>○好ましい例                      ○好ましくない例</p>
付 属 施 設 等	<p>建築物と一体化させるか、道路などから見えない位置に設置する。それが困難な場合には、壁面と同系色にするなど目立たないようにする。</p>

## ■色彩

- ① ソーラーパネルの色彩は、周囲と調和した色彩とし、低明度かつ低彩度で目立たないものを使用する。  
推奨色：黒系、濃紺系
- ② ソーラーパネルの発電面は、低反射で、模様が目立たないものを使用する。また、文字や絵、図等の表記はしない。
- ③ ソーラーパネルのフレームや架台の色彩は、パネル部分と同色か、黒色又はダークグレー、ダークブラウン等を使用し、素材は低反射のものとする。
- ④ パワーコンディショナーや分電盤及びフェンス等の付属施設の色彩も、ソーラーパネル等と同色か、黒色又はダークグレー、ダークブラウン等（建築物に設置する場合は、建築物と一体的に見える色彩）とする。

### 例示

#### ○ 推奨するパネル



○ 好ましくないパネル



\* 青色がつよい



\* 青色が強く結晶が目立つ



\* 2色が混同して目立つ



\* 赤みがつよい



\* 模様が目立つ

※写真は例であり、特定のメーカーを表すものではありません。

#### 4. その他

① 甲州市太陽光発電設備設置指導要綱

「甲州市太陽光発電施設設置指導要綱」を平成27年1月30日に策定しました。その要綱による協議が整っていることが前提となります。

② 太陽光発電施設の適正導入ガイドライン（平成29年3月改訂）

山梨県では、太陽光発電施設事業者により適正な導入が図られるよう「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」を作成しています。設置にあたっては各種法令を遵守するほか、様々なトラブル回避のためにも、このガイドラインに従い適切な導入を図ってください。

③ 景観形成重点地区及び重要眺望点について（図1参照）

甲州市景観計画において、景観形成重点地区の設定及び重要眺望地点の設定を行っていくこととしています。

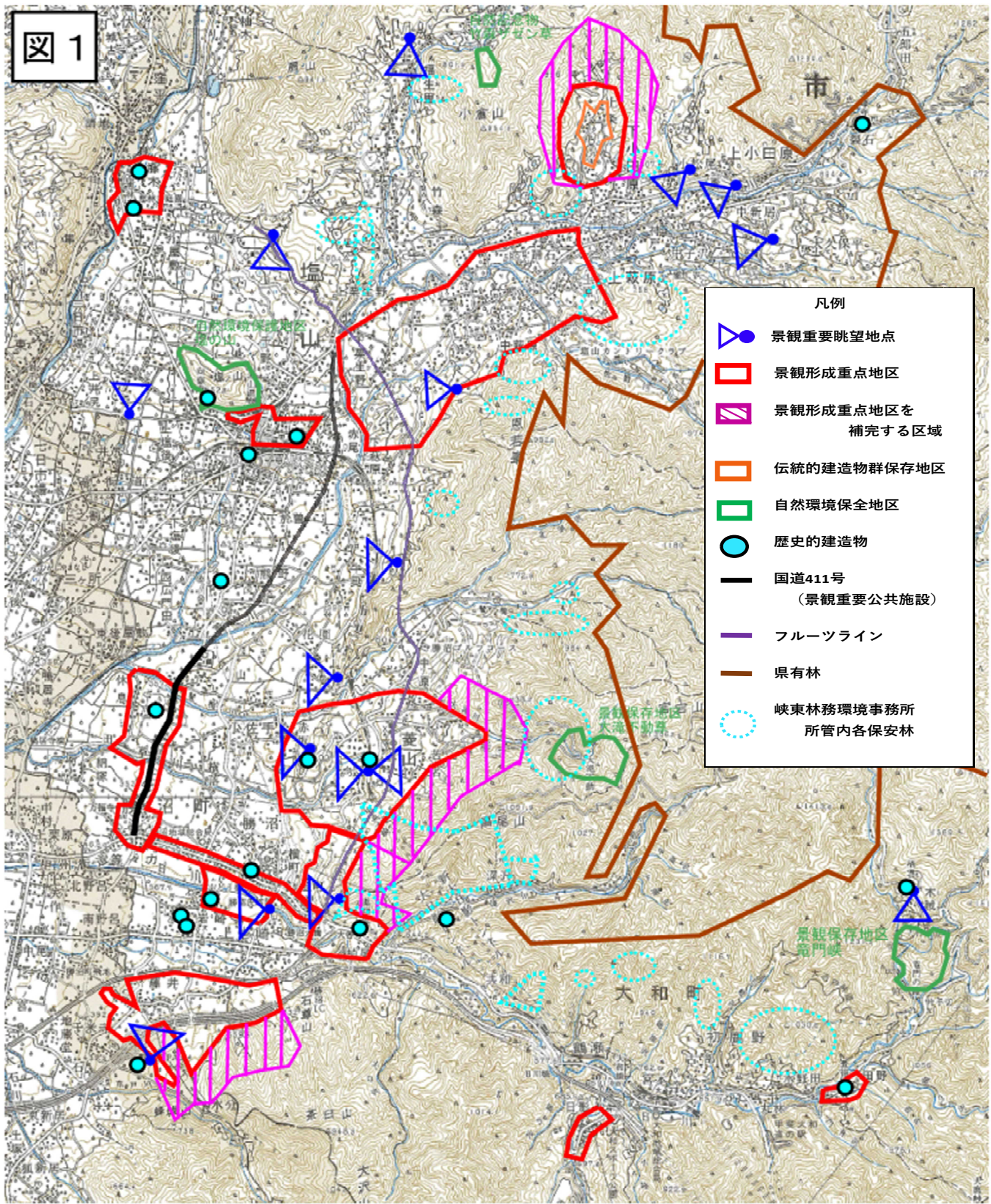
今後、上記の地区、地点になりうるところについては、特に景観保全が必要になるので、太陽光発電設備の設置及び周辺景観との調和に対してより留意します。

④ 伝統的建造物群保存地区について（図1参照）

文化財保護法及び都市計画法により指定された、伝統的建造物群保存地区については、「甲州市伝統的建造物群保存地区保存条例」第4条第1項（4）の規定により市長及び教育委員会の許可を得ることとなります。



図 1





甲州市建設課 都市計画・まちづくり担当  
〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1  
TEL0553-32-5072 (課直通)